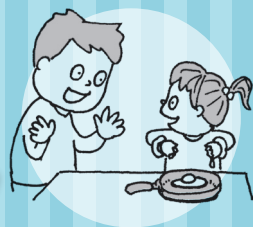


開くとヒントが
見えてくる

家庭教育 ワークシート



新型コロナウイルスの感染拡大等により、人と人とのつながりを

保つことが難しくなりました。

今、この時期だからこそ、

「家庭教育ワークシート」を使って、

親子のつながりや子どもとの関わりについて考えてみませんか？



家庭教育ワークシートとは

子育ての具体的な場面における問いかけに「自分ならどうするだろう」と考えながら答える形式のワークシートです。また、コラムにもたくさんのヒントが見つかるかもしれません。



ストレスを抱えている子どもたちにできること

長引く自粛や日常の感染リスクと隣り合わせの生活の中、大人も子どもも不安やストレスを感じるが増えていると思います。お互いにイライラがたまり、つい子どもにきつく当たってしまうことがあるかもしれません。

子どもたちも親の姿を見ながら頑張っています。子どもの言葉や行動を親の価値観だけで捉えるのではなく、まず子どもの目線に寄り添うことから始めてみましょう。その子をありのままに認めるにはどうすればよいのか、ワークシートを通して考えを進めることができます。

保護者の皆様も知らず知らずのうちに疲れがたまっているかもしれません。一人で無理をして頑張りすぎないように、家族や周囲の人、専門家などの力を借りることが大切です。



いまこそ親子の関係をとらえ直すとき



日常的な感染対策が必要とされる中、子どもも大人も「人と接すること」に不安を感じるようになりました。親子の関係は、人との関わりの基礎となります。子どもにとっては安心でき、信頼できる関係性が必要です。不安を感じる今だからこそ、親子のつながりや関係性について、あらためて考えてみましょう。

親も子どもも、ひとりの人間として

親も子どもも、親子である前に、誰もがひとりの人として認められたいという思いを持っています。人は、大切な人に尊重されることで、「自分は価値のある人間なんだ」という思い（自己肯定感）がはぐくまれ、そこから生きる力、チャレンジする力が生まれます。

その大切な場のひとつが親子関係です。

子どもが好きなものや関心をもつものに、一緒になって関心をもってみましょう。常に親からアドバイスをするだけでなく、時には子どもに得意なことを教えてもらうなど、柔軟な関係性をつくりながら、お互いをひとりの人として尊重するためにできることを考えてみましょう。



子育て、そして自分自身について考えるきっかけに

冊子では、子どもと過ごす中で気になることや、子どもに伝えたいことなどをテーマに、年齢に応じた子育てのさまざまな課題を具体的に取り上げています。

子どもとの関わりや子育てについてのヒントが詰まった「家庭教育ワークシート」を使って、子どものこと、自分の本当の考えや気持ち、子育てに対する価値観や学校との関係、そして社会とのつながりなどに考えをめぐらせてみませんか。



区ホームページより

全8種類の家庭教育ワークシートをご覧いただけます。

令和3年3月発行／新宿区教育委員会事務局教育支援課